

# MieMu

2019  
Annual schedule  
年間スケジュール

みえむ

三重県総合博物館  
MieMu: Mie Prefectural Museum, Japan



*Stegodon miensis*

	企画展示室 (3F)	三重の実物図鑑 (3F)	講座	フィールドワーク
2019 4	<p>第23回企画展 <b>ボタニカル・デザイン</b> —植物のかたち、その観察— 4月20日(土)～6月16日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4/21(日) ギャラリートーク</li> <li>27(土) 記念講演会 「パニラはどこからやってきた?」</li> <li>5/12(日) ギャラリートーク</li> </ul>	<p><b>明治前期の三重のできごと</b> 4月16日(火)～ 5月19日(日)</p>  <p>有節萬古 腫脹脂軸桜唐草文桃形湯冷</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13(土) さんちゃんのお食事会</li> <li>// 基本展示スポットガイド</li> <li>21(日) MieMu の日</li> <li>// わくわくワークショップ</li> <li>28(日) 館長と調べる三葉虫のひみつ</li> </ul>	
5	 <p>イタカムシトリスミレ(食虫植物)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6/9(日) ギャラリートーク</li> </ul>	<p>トピック展 <b>幕末維新を生きた旅の巨人・松浦武四郎 再び</b> 5月21日(火)～ 7月7日(日)</p>  <p>松浦武四郎肖像 松浦武四郎記念館蔵</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5(日・祝) わくわくワークショップ 「葉っぱのこすりだし図鑑」</li> <li>11(土) さんちゃんのお食事会</li> <li>// 学芸員フリートーク</li> </ul> 	
6			<ul style="list-style-type: none"> <li>8(土) さんちゃんのお食事会</li> <li>// 基本展示スポットガイド</li> <li>16(日) わくわくワークショップ</li> </ul>	
7	<p>第24回企画展 <b>開館5周年記念特別展</b> <b>この男がジブリを支えた。近藤喜文展</b> 7月6日(土)～9月16日(月・祝)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7/6(土) スタジオジブリプロデューサーによる ギャラリートーク</li> <li>27(土) 映画「耳をすませば」上映会</li> <li>8/24(土) スタジオジブリプロデューサーによる トークショー</li> </ul>	<p>新収蔵資料紹介 <b>雲井コレクションにみる戦争と戦時下の暮らし</b> 7月9日(火)～ 9月8日(日)</p>  <p>焼夷弾(レプリカ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13(土) さんちゃんのお食事会</li> <li>// 学芸員フリートーク</li> <li>21(日) わくわくワークショップ 「おもしろ博物館」</li> </ul> 	
8	 <p>「魔女の宅急便」イメージボード 1989年 ©1989 角野栄子・Studio Ghibli・N</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>10(土) さんちゃんのお食事会</li> <li>// 基本展示スポットガイド</li> <li>18(日) 標本の名前を調べてみよう (2019年度同定会)</li> <li>24(土) 館長と調べる三葉虫のひみつ</li> </ul>	
9			<ul style="list-style-type: none"> <li>7(土) 学芸員フリートーク</li> <li>14(土) さんちゃんのお食事会</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>28(土) さがしてみよう! 磯の生物</li> </ul>

10

第25回企画展

開館5周年記念特別展  
三重の仏像～白鳳仏から円空まで～

10月5日(土)～12月1日(日)

- 10/6(日) ミニレクチャー&ギャラリートーク
- 13(日) ミニレクチャー&ギャラリートーク
- 26(土) ミニレクチャー&ギャラリートーク
- 11/2(土) ミニレクチャー&ギャラリートーク
- 17(日) 記念講演会
- 24(日) ミニレクチャー&ギャラリートーク
- 30(土) ミニレクチャー&ギャラリートーク

タイアップイベント開催予定



木造薬師如来坐像  
尾鷲市真巖寺蔵



©DMM GAMES/Visualworks

11

三重の弥生時代

10月17日(木)～  
12月15日(日)



弥生土器 納所遺跡(津市)出土  
三重県埋蔵文化財センター保管

12

第26回企画展

1960年代の熱気を未来につなぐ  
～出来事でふりかえる60年の歩み～

12月21日(土)～2月24日(月・振休)

- 12/22(日) ギャラリートーク
- 1/19(日) ギャラリートーク



1960年代を代表する大衆車 スパル 360

- 2/16(日) ギャラリートーク

2020

1

2020年新春企画

三重のネズミたち

12月17日(火)～  
1月26日(日)



南京白鼠(『鼠族図譜』より)

石器は語る

1月28日(火)～  
4月12日(日)



旧勢和村(現多気町)内で採集された石器

2

- 12(土)さんちゃんのお食事会
- // 基本展示スポットガイド
- 19(土)おとなのためのコケ講座
- 20(日)わくわくワークショップ  
「どんぐり図鑑をつくろう」

岐阜県博物館交流企画

- 20(日)講演会  
「仏像が移動する？」

- 9(土)さんちゃんのお食事会
- // 学芸員フリートーク
- 17(日)わくわくワークショップ  
「伊勢型紙でポストカードをつくろう」

- 10(日)文化財探訪  
「三重の仏像をたずねて」

- 1(日)わくわくワークショップ  
「まつぼっくりでX'masツリーをつくろう」
- 14(土)さんちゃんのお食事会
- // 基本展示スポットガイド
- 15(日)正月かざりをつくろう
- 22(日)館長と調べる三葉虫のひみつ

- 1(日)宮川の石を調べよう
- 8(日)身近な冬鳥を観察しよう

- 11(土)さんちゃんのお食事会
- // 学芸員フリートーク

- 26(日)山粕層群の化石をたずねて

- 8(土)さんちゃんのお食事会
- // 基本展示スポットガイド



- 14(土)さんちゃんのお食事会
- // 学芸員フリートーク
- 15(日)わくわくワークショップ  
「おもしろ博物館」

- 8(日)身近な冬鳥を観察しよう

3



※このほかにも、企画展関連イベント等を開催する予定です。また、企業や団体から協賛をいただき、基本展示観覧料が無料となり、各種イベントが盛りだくさんの「コーポレーション・デー」を開催します(不定期)。開催日時等、最新の情報は、当館ホームページやSNSでご案内します。



## さまざまな活動のご案内

当…当日受付 申…事前申込

### 講座など

- **基本展示スポットガイド** 当 (偶数月)  
数ある展示コーナーの中から、学芸員のおすすめ展示を解説します。誰が、どこの解説をするかは来てみてのお楽しみ。  
日程:第2土曜日 14時～14時30分
- **さんちゃんのお食事会** 当 (毎月)  
オオサンショウウオのさんちゃんがエサを食べるところを観察しよう。  
日程:第2土曜日 11時～11時30分
- **わくわくワークショップ** 当  
どなたでも参加できるワークショップを行います。  
日程:4/21,5/5,6/16,7/21,10/20,11/17,12/1,3/15 13時～15時
- **学芸員フリートーク** 当 (奇数月)  
学芸員が知っているあんなこと、こんなこと。いろいろなお話をします。  
日程:第2土曜日 (9月のみ第1土曜日)  
13時30分～15時 定員:80名 対象:小学生以上
- **館長と調べる三葉虫のひみつ** 当  
日程:4/28,8/24,12/22  
13時30分～15時 定員:20名 対象:小学生以上

- **標本の名前を調べてみよう** 当  
(2019年度同定会)  
日程:8/18 対象:小学生以上
- **おとなのためのコケ講座** 申  
日程:10/19 定員:10名 対象:一般 (初心者向け)
- **正月かざりをつくろう** 申  
日程:12/15 定員:15名 対象:小学生以上  
(ただし小学生3年生以下は保護者同伴)  
※別途材料費必要。

### フィールドワーク

- **さがしてみよう!磯の生物** 申 (現地集合)  
日程:9/28 定員:20名 対象:小学生以上
- **文化財探訪**  
「三重の仏像をたずねて」 申 (現地集合)  
日程:11/10 定員:20名 対象:一般
- **宮川の石を調べよう** 申 (現地集合)  
日程:12/1 定員:30名 対象:小学生以上
- **身近な冬鳥を観察しよう** 申 (現地集合)  
日程:12/8,3/8 定員:30名 対象:小学生以上  
(初心者向け)
- **山粕層群の化石をたずねて** 申 (現地集合)  
日程:1/26 定員:30名 対象:小学生以上  
※フィールドワークへの小学生の参加は保護者同伴

### [定員・申込み方法について]

現地集合:直接現地へお越しください。  
当日受付:開始時間までに所定の場所へお集まりください。定員に達し次第、締切りといたします。  
事前申込:開催日の2か月前から3週間前(必着)の期間に往復はがきまたは電子申請でお申込みください。  
※電子申請は、当館ホームページのイベント案内よりお申込みください。  
<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/84927046739.htm>  
なお、右記のQRコードからもアクセスできます。



- 1つの行事につき1通の申込みが必要です。代表者の氏名、年齢、住所、当日連絡が取れる電話番号および参加者全員の氏名、年齢をご記入ください。
- 応募者多数の場合、抽選となります。なお、電子申請の場合、申込み後に届く到達確認メールは、当選の通知ではありませんのでご注意ください。
- 1件あたりのお申込み人数は4名までとし、これを抽選単位とします。[「コケ講座」「正月かざり」]は2名まで
- 各イベントは、悪天候などにより中止することがあります。当日参加のイベント実施の可否についてはホームページをご覧いただくか、MieMuへお問い合わせください。
- 申込みが定員に満たない場合、募集期間終了後、追加募集を行う場合があります。実施の場合はホームページでご案内します。またはMieMuへお問い合わせください。

**[お問い合わせ] 三重県総合博物館 (MieMu)**  
三重県津市一身田上津部田 3060 〒514-0061  
tel 059-228-2283 mail MieMu@pref.mie.lg.jp  
HP <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

**【岐阜県博物館交流企画】** 岐阜県博物館とMieMuとの連携企画として、岐阜県博物館の学芸員による講演会を実施します。

講演会 事前申込 定員:80名

10/20 (日) 13時30分～15時

「仏像が移動する? -安置場所が変わる事情-」

担当:守屋靖裕 (岐阜県博物館 人文担当学芸員)

※MieMuからも学芸員が岐阜県博物館に出かけて講演会を行います。参加方法は岐阜県博物館にお問い合わせください。

講演会 ● 10/5 (土) 「植物のかたち、その観察」 (森田奈菜学芸員)



フジ(つる植物)

## 第23回企画展

## ボタニカル・デザイン —植物のかたち、その観察—

4月20日(土)～6月16日(日)

植物は、動物のように自由に移動することができません。動けないからこそ、花やタネ、葉の形に工夫をこらし、子孫を残そうとしてきました。この企画展では、植物のさまざまな「かたち=デザイン」に焦点を当て、植物の形の意味を考え、そのおもしろさを紹介します。また、第2会場では、さまざまな形の植物を集めたミニ植物園を開園します。MieMu 初、植物をテーマにした企画展です。

[料金]※( )内は団体料金  
一般:800円(640円) 学生:480円(380円)

基本展示とのセット観覧券  
一般セット券:1,040円(830円)  
学生セット券:620円(490円)  
こども無料(高校生以下)



「耳をすませば」絵コンテ(部分)1995年  
©1995 柘あおい/集英社・Studio Ghibli・NH

## 第24回企画展

## 開館5周年記念特別展 この男がジブリを支えた。近藤喜文展

7月6日(土)～9月16日(月・祝)

近藤喜文は、新潟県五泉市に生まれ育った日本屈指のアニメーターで、高畑勲・宮崎駿両監督から厚く信頼を寄せられていた人物です。彼が急逝する前に手がけた唯一の長編監督作品「耳をすませば」は、今もなお多くの人に愛されています。本展では、近藤喜文が描いたキャラクター・デザインやアニメーション原画、イメージボード、スケッチ等多数展示します。清潔な人柄と温かな眼差しから生まれた近藤喜文が描き出すジブリ作品の世界をお楽しみください。

[料金]※( )内は団体・前売料金  
一般:1,300円(1,040円)

学生:800円(640円)  
小中高生:500円(400円)  
未就学児無料

※年間/バスポートはご利用いただけませんので、予めご了承ください。

## 第25回企画展

## 開館5周年記念特別展 三重の仏像 ～白鳳仏から円空まで～

10月5日(土)～12月1日(日)

三重県は大和地方に隣接し、かつて都のあった京都からも比較的近いことから、県内には多くの優れた仏像が伝存しています。また、近年は仏師の活動がうかがえる発見など、調査研究による新発見の蓄積が進んでいます。この特別展では、平安・鎌倉期の仏像を中心に、秘仏、本尊を含む選りすぐりの三重の仏像を一堂に会し、その魅力をさまざまな角度から紹介します。MieMu 初、三重で16年ぶりに開催する本格的な仏像展です。

[料金]※( )内は団体料金  
一般:1,000円(800円)  
学生:600円(480円)

基本展示とのセット観覧券  
一般セット券:1,200円(960円)  
学生セット券:720円(570円)  
こども無料(高校生以下)



木造十一面観音立像(重文)  
津市白山町瀬古区蔵

## 第26回企画展

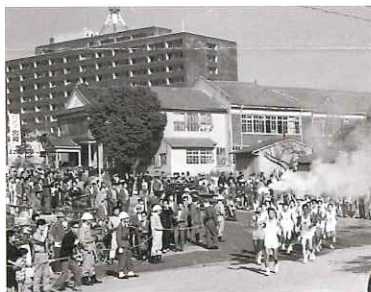
## 1960年代の熱気を未来につなぐ ～出来事でふりかえる60年の歩み～

12月21日(土)～2020年2月24日(月・振休)

2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が近づくにつれ、前回開催(1964年)当時の興味や関心も高まることでしょう。その頃の日本では、高度経済成長と呼ばれる経済的、物質的な発展とともに、人々の生活も急激に変化しました。私たちが古い写真などに「なつかしさ」を感じる時、その原点は1960年代にあると思われます。現在にいたる約60年間の出来事を、モノや映像・写真等でふりかえり、新たな時代を活力あるものにするためのヒントをさがります。

[料金]※( )内は団体料金  
一般:500円(400円) 学生:300円(240円)

基本展示とのセット観覧券  
一般セット券:800円(640円)  
学生セット券:480円(380円)  
こども無料(高校生以下)



三重県庁を出発する聖火リレー



◆三重の実物図鑑 特集展示

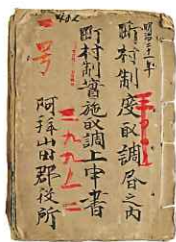
※観覧無料

三重の実物図鑑では主に人文・自然分野の収蔵品を展示しています。人文分野は資料保存のため定期的に展示替えを行います。

明治前期の三重のできごと

4月16日(火)～5月19日(日)

1877(明治10)年頃から1890年代には、明治政府の中央集権化が進められ、地方制度の変革、市町村合併が実施され、産業振興政策として博覧会が開催されました。これらの様子を歴史的公文書などから紹介します。



町村制度取調書之内  
町村制実施取調上申書

三重の弥生時代

10月17日(木)～12月15日(日)  
三重県埋蔵文化財センター共催

今から約2千数百年前に大陸から九州に伝わったコメ作りは、栽培知識や技術を向上させながら、西日本各地に広まりました。コメ作りに励み、蓄え、豊穰を祈った弥生人の生活やお墓にまつわる品々を、発掘調査で出土した資料から紹介します。



石斧づくり 宮山遺跡(いなべ市)出土  
三重県埋蔵文化財センター保管

トピック展

幕末維新を生きた旅の巨人・松浦武四郎 再び  
5月21日(火)～7月7日(日)

激動の幕末維新にあって異彩を放ち続けた旅の巨人、松浦武四郎。昨年開催した生誕150年記念企画展の研究成果に基づき、北海道踏査にとどまらない多様な活動を行った武四郎を見つめなおします。



大台へ向かう武四郎の姿  
(『乙酉掌記』より)

2020年新春企画

三重のネズミたち

12月17日(火)～2020年1月26日(日)  
子年にちなんで、当館の収蔵資料から「鼠(ネズミ)」に関連した資料を展示します。ネズミ目の動物の剥製標本のほか、子年の伊勢暦、鼠を描いた図譜・図鑑や、鼠がモチーフになった工芸品など、自然から歴史・文化まで幅広い分野の資料を展示します。



アカネズミ

新収蔵資料紹介

雲井コレクションにみる戦争と戦時下の暮らし

7月9日(火)～9月8日(日)

今年は第2次世界大戦の終戦から74年目にあたります。このほど当館に寄贈された約5千点にのぼる戦時関係資料「雲井コレクション」の紹介を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えます。



金属の代わりに非金属でつくられた代用品  
陶製アイロン・湯たんぽ、ガラス製ナイフ

石器は語る～南伊勢地域の旧石器・縄文時代～

2020年1月28日(火)～4月12日(日)

旧多気郡勢和村(現多気町)を中心とする南伊勢地域の遺跡を、およそ30年の歳月をかけて踏査してきた研究者が採集した7万点にも及ぶ考古資料の中から、特に重要な旧石器・縄文時代の資料を紹介します。



大間広遺跡表採資料

※上記期間以外も収蔵品の展示を行っています。

利用案内 ●開館時間

交流創造エリア 午前9時～午後7時(無料)

展示エリア 平日:午前9時～午後5時

土・日・祝日:午前9時～午後7時(最終入場は、閉場30分前まで)

\*開館時間を変更する場合があります。

●休館日 月曜日(祝日の場合は翌日、8/13は開館)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日

●観覧料

基本展示 一般510円(400円)、学生300円(240円)、高校生以下無料 ※( )内は団体料金

《10月1日以降》

一般520円(410円)、学生310円(240円)、高校生以下無料 ※( )内は団体料金

企画展示 展覧会ごとに別途料金を定めます。詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。

年間パスポート 一般1,640円 学生1,020円

《10月1日以降》一般1,670円 学生1,040円

\*学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名の観覧は無料です。

\*毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご覧いただけます。

交通案内

●津駅まで

[鉄道]名古屋から近鉄またはJRで約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分

津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車

●津駅(西口)から

[バス]三重交通バス 総合文化センター行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)

夢が丘団地行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)

[徒歩]約25分

●お車で

[自動車/観光バス]伊勢自動車道「津IC」から約10分/伊勢自動車道「芸濃IC」から約20分

駐車場約1,400台 \*総合文化センターと共用。思いやり駐車場あり。



MieMu みえむ 三重県総合博物館  
MieMu・Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060 〒514-0061

3060 Isshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan

tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.lg.jp

HP <http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/>

twitter @mie\_pref\_museum

facebook <https://www.facebook.com/mie.pref.museum>



利用のご案内

■開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日：月曜日(祝日休日にあたる場合は開館、翌日閉館)  
 [2019年5月7日(火)、7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)、9月24日(火)、10月15日(火)、11月5日(火)、2020年1月14日(火)、2月25日(火)]  
 ※4月30日(火)は開館  
 年末年始[2019年12月29日(日)～2020年1月3日(金)]

■観覧料

□常設展示の場合(美術館のコレクション+柳原義達の芸術/特集展示)  
 一般300(240)円/学生(大学・各種専門学校等)200(160)円  
 高校生以下無料 ( )内は20名以上の団体料金

※消費税率の改定に伴い、料金は変わる可能性があります。

□企画展示の場合

裏面展覧会予定をご参照ください。

※企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

※学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、引率者も含めて無料となります。

※障害者手帳等をお持ちの方が観覧する場合、付き添いの方1名を含めて無料となります。

※家庭の日(毎月第3日曜日)の観覧料は、各展覧会(企画展/常設展)の団体割引料金となります。

■メールマガジン

三重県立美術館の情報を、みなさんのパソコン、携帯電話へお届けします。

購読料無料。詳しくは、美術館ホームページをご覧ください。

<http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>

■美術館公式twitter

三重県立美術館の最新情報をリアルタイムで配信しています。

Follow us on Twitter @mie\_kenbi



三重県立美術館

〒514-0007 津市大谷町11  
 TEL. 059-227-2100(代表)  
 FAX. 059-223-0570

●交通

津駅(近鉄・JR)西口より徒歩約10分または、  
 津駅西口1番のりばより三重交通バス「西団地循環」、  
 「津西ハイタウン行き(むつみ・つつじ経由)」、  
 「夢が丘団地行き(総合文化センター前経由)」、  
 「総合文化センター行き」のいずれかに乗車約2分、  
 「美術館前」下車徒歩約1分  
 ※できる限り公共交通機関をご利用ください



三重県立美術館  
 展覧会のご案内  
 2019年度



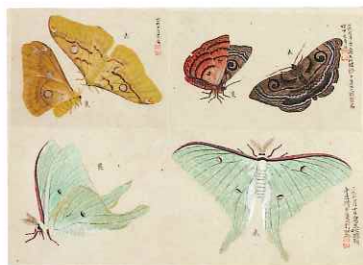
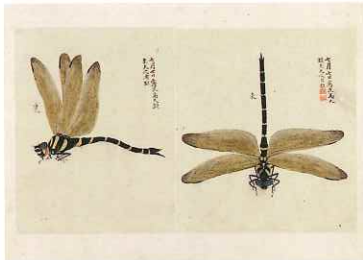


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画展示	没後200年記念 増山雪齋展 4/20 - 6/16			デンマーク・デザイン展 7/6 - 9/1		シャルル=フランソワ・ドービニー展 9/10 - 11/4		生誕120年/没後100年 関根正二展 11/23 - 1/19		コレクションによる特別陳列 没後30年 諏訪直樹展 2/1 - 4/5		
特集展示	中谷ミチコ展 7/6 - 9/29											
常設展示	美術館のコレクション I 4/2 - 6/30			美術館のコレクション II 7/2 - 9/29			美術館のコレクション III 10/1 - 12/22			美術館のコレクション IV 12/24 - 3/29		
	柳原義達の芸術 I 4/2 - 6/23						柳原義達の芸術 II 10/3 - 12/22			柳原義達の芸術 III 12/24 - 3/29		





増山雪斎《黄蜀葵に翡翠図》  
個人蔵



増山雪斎《虫笺帖》(部分)  
東京国立博物館蔵  
東京都指定有形文化財  
Image: TNM Image Archives



カイ・ボイスン《玩具(サル)》1951年 / photo : Michael Whiteway



アーネ・ヤコブソン  
《肘掛椅子《エッグチェア》》  
1958年(1965年頃制作)  
photo : Michael Whiteway



アーノル・クローウ  
《記念プレート 1888》1888年



シャルル=フランソワ・ドービニー《オワーズ河畔、夜明け》1865年 / リール美術館蔵  
Lille, Palais des Beaux-Arts / Inv.P.496  
Photo © RMN-Grand Palais / Thierry Le Mage / distributed by AMF



シャルル=フランソワ・ドービニー《ケリティ村の入り口》1871年 / ランス美術館蔵  
Legs Warnier-David, Musée des Beaux-Arts de Reims / inv. : 899.16.20  
© Christian Devleeschauwer

## 没後200年記念 増山雪斎展

2019年4月20日|土| - 6月16日|日|

一般900(700)円 / 学生700(500)円 / 高校生以下無料

伊勢国長島藩主、増山雪斎(1754-1819)の没後200年を記念する展覧会。雪斎は、小さな生き物たちをこよなく愛した文人大名。本展覧会

## デンマーク・デザイン展

2019年7月6日|土| - 9月1日|日|

一般1,000(800)円 / 学生800(600)円 / 高校生以下無料

バルト海と北海に面した半島と島々から成る北欧の国デンマーク。職人技の長い伝統を有し、近代化以降も手仕事に基づく生産に重点を置

## シャルル=フランソワ・ドービニー展

2019年9月10日|火| - 11月4日|月・祝|

一般1,000(800)円 / 学生800(600)円 / 高校生以下無料

19世紀フランスを代表する風景画家の1人で、印象派にも大きな影響を与えたシャルル=フランソワ・ドービニー(1817-1878)の国内初の本格的な展覧会(巡回展)。船にアトリエを備え付けた「アトリエ船」を





関根正二《神の祈り》1918年頃 / 福島県立美術館蔵



諏訪直樹《PH-2-8602》1986年 / 三重県立美術館蔵

生誕120年／没後100年 関根正二展

2019年11月23日|土| - 2020年1月19日|日|

一般900(700)円 / 学生700(500)円 / 高校生以下無料

コレクションによる特別陳列  
没後30年 諏訪直樹展

2020年2月1日|土| - 4月5日|日|

一般700(500)円 / 学生600(400)円 / 高校生以下無料

特集展示



中谷ミチコ《あの山にカラスがいる》2017年 / Photo: Yutaka Matsubara

中谷ミチコ展

2019年7月6日|土| - 9月29日|日|

会場：柳原義達記念館 A+B室

三重県を拠点に国内外で活動し、近年、全国的に高く評価されている彫刻家、中谷ミチコ(1981-)。今回は柳原義達の作品群を発端として制作された石膏や樹脂を素材としたレリーフ作品・ドローイングを中心に、柳原義達記念館を全面的に使用した展示を行います。

柳原操基金・柳原義達顕彰事業

常設展示

美術館のコレクション

- I 2019年4月2日|火| - 6月30日|日|
- II 2019年7月2日|火| - 9月29日|日|
- III 2019年10月1日|火| - 12月22日|日|
- IV 2019年12月24日|火| - 2020年3月29日|日|

柳原義達の芸術

- I 2019年4月2日|火| - 6月23日|日|



## 齋宮歴史博物館のご案内



齋宮とは、天皇が即位するたびに選ばれ、天皇の代理として伊勢神宮に仕えた皇女・齋王の宮殿と、彼女に仕えた官人たちの役所・齋宮寮のことを言います。

齋王制度は、7世紀後半に始まり、

14世紀前半に廃絶するまで、長い歴史を有します。

齋宮歴史博物館は、この齋王と齋宮の豊かな歴史、そしてその魅力を広く紹介する施設です。

### 常設展示——齋宮の歴史にふれる

常設展示では、文献や文学からさぐる齋王・齋宮の世界、そして齋宮跡の発掘調査が解き明かす齋宮のすがたを紹介しています。



映像展示室では、2本の映像作品で、ありし日の齋宮にいらさないです。

### 史跡探訪——齋宮跡を体感する



国史跡齋宮跡は、東西2km南北0.7kmにおよぶ広大な遺跡です。齋宮の全貌を解明すべく、史跡内で計画的に随時発掘調査を行っています。現地見学・体験イベント参加ご希望の方は、当館ホームページをご覧の上、調査研究課までお申し込みください。



さいくう平安の杜  
発掘調査の成果をもとに、実物大で復元した齋宮寮の建物です。幻の宮とされてきた齋宮がここによみがえりました。

## ご利用案内

- 開館時間 9:30~17:00  
ただし、入館は16:30まで
- 休館日 月曜日（祝日の場合を除く）  
祝日の翌日（土曜日・日曜日を除く）  
12月29日~1月3日  
※裏面のカレンダーをご参照ください。

観覧料	個人	団体	※団体は20名以上
一般	340円	260円	
大学生	220円	180円	
高校生以下	無料	無料	

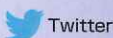
- ※消費税増税に伴い観覧料変更になる場合があります。  
※次の方々は、「齋宮歴史博物館観覧料免除要綱」により、観覧料の免除を受けることができます。
- 三重県内の小学校・中学校・義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童及び生徒を引率者（但し、教育課程に基づく教育活動として事前の申請が必要です。）
  - 心身に障がいをお持ちの方とその介助者（1名）
  - 三重県内の児童福祉施設に在籍している児童およびその引率者
- ※家庭の日（毎月第3日曜）は、個人でも団体料金が適用されます。  
※特別展等は、上記観覧料とは別に観覧料が定められます。

### 交通案内

近鉄齋宮駅より徒歩15分  
伊勢自動車道 玉城ICより車で約20分  
松阪・伊勢市街より車で約30分  
駐車場 無料（乗用車200台駐車可）

公式アプリ

主な展示資料や史跡「齋宮跡」内の施設などについて、文字と音声で解説するスマートフォン用ガイドアプリ「齋宮案内」をご利用ください。日本語のほか、英語、中国語、韓国語に対応しています。日々の齋宮情報、展覧会や季節折々の情報をお届けしています。



Twitter



路線	駅名	所要時間	備考
近鉄特急	大阪	約10分	近鉄特急
	松阪	約15分	
近鉄特急	宇治山田	約1分	近鉄特急
	伊勢市	約1分	
近鉄特急	宇治山田	約1分	外宮
近鉄特急	宇治山田	約1分	内宮



## 齋宮歴史博物館

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503  
TEL 0596-52-3800(代) FAX 0596-52-3724  
E-mail saiku@pref.mie.lg.jp  
URL http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/saiku/

開館30周年

齋宮歴史博物館

Saikū Historical Museum

年間行事案内

2019.4.1 - 2020.3.31



### 4月

13日(土) 県民の日記念  
(無料観覧日)

休館日 1・8・15・22

### 5月

18日(土) 春季企画展  
おたのしみ講座  
25日(土) 西脇殿歴史フォーラム①

休館日 7・13・20・27

### 6月

1日(土) 斎王まつり(前夜祭)  
2日(日) 斎王まつり  
22日(土) 古典文学講座①

休館日 3・10・17・24

### 7月

12日(金) イブニング講座①  
13日(土) 歴史講座①  
27日(土) 古典文学講座②

休館日 1・8・16・22・29

### 8月

3日(土) 西脇殿歴史フォーラム②  
9日(金) イブニング講座②  
24日(土) 古典文学講座③

休館日 5・13・19・26

### 9月

7日(土) 歴史講座②  
13日(金) イブニング講座③  
15日(日) いつきのみや観月会  
28日(土) 古典文学講座④

休館日 2・9・17・24・30

春季企画展 4月20日~6月2日

ポスター展 6月11日~6月30日

夏季企画展 7月6日~8月18日

第38回埋蔵文化財展 8月24日~9月23日

#### 春季企画展 4/20(土)~6/2(日) めでたい!のいろいろ 一瑞祥ときざしー

有料



高御座と鳳凰(館蔵)

いろいろな「めでたい」を紹介します。新しい時代のはじまりの年にあわせ、即位や大嘗祭もとりあげます。

【関連企画】 5月18日(土)

おたのしみ講座

「代替わりって何?」 講師:榎村寛之(当館職員)

※事前申し込み不要

#### 夏季企画展 7/6(土)~8/18(日) 言葉(にほん語)が文字になった 一 斎宮で自由研究③-

無料

漢字・ひらがな・カタカナは、いつ頃から使っていたの?夏休みの自由研究向けの企画展。



「いろは歌」ひらがな墨書土器(史跡斎宮跡出土 館蔵)



#### 第38回埋蔵文化財展 8/24(土)~9/23(月・祝)

無料

設立30周年を迎えた三重県埋蔵文化財センターの歩みを、選りすぐりの遺跡を通して紹介します。

土偶 縄文時代(松阪市天白遺跡出土 三重県指定有形文化財 三重県埋蔵文化財センター保管)

#### 【毎回募集】歴史講座(全3回)

無料

テーマ 「めでたい!!!」

第1回 7月13日(土) 「めでたい改元、ふしぎな元号」

講師:久禮旦雄氏(京都産業大学法学部准教授)

第2回 9月7日(日) 「めでたい!めでたくない!世界の人魚」

講師:山中由里子氏(国立民族学博物館准教授)

第3回 2月29日(土) 「福を呼ぶ?物知り神獣、白沢のはなし」

講師:熊澤美弓氏(国立鈴鹿工業高等専門学校講師)

=第1~3回 共通事項=

開催時間:13:30~15:30

#### 【参加方法】事前申し込み

往復はがきに、①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号を明記の上、「斎宮歴史博物館 古典文学講座(または歴史講座)係」へお申し込みください。(応募は、はがき1枚につきお一人様とさせていただきます。)

〒515-0325 多気郡明和町竹川503

※三重県ホームページ内「三重県申請・届出等手続の総合窓口」からも応募できます。

<http://www.shinsei.pref.mie.lg.jp/navi2/index.html>

定員 125名(応募者多数の場合は抽選)

※募集期間以外に応募された場合は、無効となりますので、ご注意ください。

#### 【通年講座】古典文学講座(全8回)

要参加費

テーマ 「『日本書紀』壬申記をたどる」

講師:竹本 晃氏(大阪大谷大学文学部准教授)

開催日:6/22、7/27、8/24、9/28、10/26、

11/23、2/22、3/28(いずれも土曜日)

開催時間:13:30~15:00

参加費:500円(初回受講時のみ納入)

募集期間:5月8日(水)~31日(金)〔締切日必着〕

#### イブニング講座(全9回)

無料

博物館職員が、研究成果をわかりやすく解説します。

開催日:7月~3月までの毎月第2金曜日

時間:17:30~18:30

場所:斎宮歴史博物館 講堂 ※事前申し込み不要

#### さいくう西脇殿歴史フォーラム(全5回)

無料

斎宮跡や周辺地域の歴史・文化にふれる講座やミニ・シンポジウムを開催します。

開催日:5/25、8/3、11/2、1/25、3/14

(いずれも土曜日)

時間:13:30~

場所:史跡公園「さいくう平安の杜」西脇殿

※事前申し込み不要

#### こども1日体験発掘教室

無料

史跡内の発掘現場で、発掘調査を体験することができます。

※開始日、募集内容は、博物館ホームページ等でお知らせします。

#### 斎宮歴史博物館開館30周年記念 史跡斎宮跡指定40周年記念特別展 東雲の斎王 大来皇女と壬申の乱

有料



「大来」木箱(レプリカ) 館蔵  
(原資料:奈良県立橿原考古学研究所蔵)

10/5(土)~11/10(日)  
万葉集に哀歌を残したとして著名な大来皇女は、壬申の乱に勝利した父天武天皇によって天照大神宮に侍らされた実質的な最初の斎王です。斎宮跡の最新の発掘調査成果も含め紹介します。

特別展記念シンポジウム10/20(日)

「東雲の時代の斎宮・大和・出雲」(仮題)

無料

基調講演:里中満智子氏(漫画家)

募集期間:9月10日(火)~10月1日(火)

特別展 10月5日~11月10日

ポスター展 11月19日~1月19日

第16回松阪・紀勢界隈まちかど博物館企画展 1月25日~2月9日

館蔵品展 2月22日~4月5日

### 10月

11日(金) イブニング講座④  
20日(日) 特別展記念シンポジウム  
26日(土) 古典文学講座⑤

休館日 7・15・21・28

### 11月

2日(土) 西脇殿歴史フォーラム③  
8日(金) イブニング講座⑤  
23日(土) 古典文学講座⑥

休館日 5・11・18・25

### 12月

13日(金) イブニング講座⑥  
下旬 追儺のまつり(予定)

休館日 2・9・16・23・29~31

### 1月

10日(金) イブニング講座⑦  
25日(土) 西脇殿歴史フォーラム④

休館日 1~3・6・14・20・27

### 2月

14日(金) イブニング講座⑧  
22日(土) 古典文学講座⑦  
29日(土) 歴史講座③

休館日 3・10・17・25

### 3月

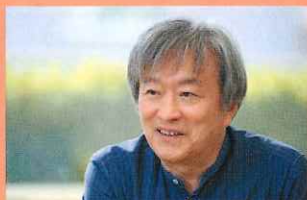
13日(金) イブニング講座⑨  
14日(土) 西脇殿歴史フォーラム⑤  
28日(土) 古典文学講座⑧

休館日 2・9・16・23・30





「いちごオレ飲みながらアイツのうわさ話した」(2017)  
撮影:三上ナツコ



撮影:野間あきら



©Chihoko Ishii



# あしたも そうぶんも



## 三重県総合文化センター 開館25周年

記念事業パンフレット

# 4月・9月



# 25周年を彩る記念事業ラインナップ

4/20[土] 大ホール 往復

## 三重県文化会館produceソリストシリーズ vol.1 服部百音 ヴァイオリンリサイタル

14:00開演(13:30開場)  
全席指定 一般2,000円、学生1,000円  
〒三重県文化会館チケットカウンター  
059-233-1122

三重県文化会館が注目のアーティストを紹介する新シリーズ第1弾! 作曲家・服部隆之を父に持ち、幼少より数々の国際コンクールでグランプリを受賞した天性のヴァイオリニストが登場。



©Chihoko Ishii

4/21[日] 中ホール 復

## 「フレンテみえ」ファンファーレ事業 近藤サト講演会 「あなたはどのくらい ～自然体で生きるということ～」

13:30~15:00(12:45開場)  
入場無料 定員:500名  
講師:近藤サト(フリーアナウンサー)  
申込方法:ホームページ、Eメール、電話、郵送、FAX、窓口  
※申込状況により受付を終了している場合がございます。  
【託児】生後3か月~小学校3年生程度  
(託児料/子ども1人につき1,000円)  
〒三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」  
059-233-1130

「女性は若い方が…」 「老いるのはイヤ」など、年齢へのイメージに「生きづらさ」を感じたことはありませんか? 白髪を隠さず、自然体で生きる近藤サトさんから、ありのままの自分で生きることの魅力についてお話しさせていただきます!



## あしたもそうぶん

三重県津市北部の丘に誕生してからあつという間に25年。多くのみなさまに足を運んでいただき、今もこうしてここにいることができています。そうぶんで出来ること実はたくさんあります。そうぶんで楽しむ。そうぶんでリフレッシュする。感極まる、大笑い、一歩を踏み出す…この先、子どもたちが大人になっても「あしたもそうぶん行こうかな」と思ってもらえるセンターでありたい。そのきっかけと言っては何ですが、25周年を記念してバリエーション豊かな記念事業をご用意しました。記念事業をお楽しみいただくのはもちろん、ふらっとお散歩に来ていただくのも大歓迎です。これからもいつでもそばに。

8/24[土]・25[日] 小ホール 25日のみ

## ロロいつ高シリーズ(2本立て公演) 三重県高校演劇部選抜ver.「いつだって窓際であたしたち」 ロロver.「いちごオレ飲みながらアイツのうわさ話した」

両日とも14:00開演(13:30開場)  
整理番号付自由席 一般2,500円、高校生以下1,000円  
〒三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122



「いちごオレ飲みながらアイツのうわさ話した」(2017) 撮影:三上ナツコ

高校演劇のルールにとった、60分の連作群像劇2本立て「いつ高シリーズ」。三重県高校演劇部選抜ver.と劇団ver.を同時上演。

8/30[金] 中ホール 復 5月下旬より受付開始(予定)

## 三重のまなび2019 太田雄貴講演会 東京2020応援プログラム

開演時間未定  
受講料未定 定員:960名  
講師:太田雄貴  
(日本フェンシング協会会長)  
申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送  
〒三重県生涯学習センター  
059-233-1151

2020年東京オリンピック・パラリンピックまであと1年! 革新的な取り組みで大注目の日本フェンシング協会会長、太田雄貴さんが語るオリパの楽しみ方や、スポーツ界の今後のビジョンは必聴です!



5/15[水] 多目的ホール

## 三重のまなび2019 楽楽歌舞伎塾 ~歌舞伎の楽しみ方~特別編

14:00開演(13:30開場)  
全席自由 1,000円 定員:200名  
講師:葛西聖司(古典芸能解説者)、中村虎之介(歌舞伎俳優)  
申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送  
〒三重県生涯学習センター 059-233-1151

「楽楽歌舞伎塾」はおかげさまで16年目! 今年はスペシャルゲストに次代を担う若手歌舞伎俳優、中村虎之介さんをお迎えします。



5/24[金] 大ホール 往復

## 三重県文化会館produceソリストシリーズ vol.2 反田恭平&務川慧悟 ピアノデュオリサイタル

18:30開演(18:00開場) 全席指定 3,000円  
〒三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122

世界が目にする今最も熱い2人のピアノデュオが実現。予定曲目:チャイコフスキー バレエ組曲「くるみ割り人形」作品71a ほか



9/14[土] 小ホール 6月下旬より受付開始(予定)

## みえミュージアムセミナー 特別編 松本猛講演会「ぼくが『ちひろ美術館』 (東京・安曇野)を作ったわけ」

13:30開演(13:00開場) 入場無料 定員:200名  
講師:松本猛(ちひろ美術館常任顧問)  
申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送  
〒三重県生涯学習センター  
059-233-1151

県内のユニークなミュージアムを紹介する「みえミュージアムセミナー」。今年特別編として、世界初の絵本美術館「ちひろ美術館」を創立した、いわさきちひろさんのご子息、松本猛さんにその魅力を語っていただきます。



撮影:野間あきら

## おかげさまで満員御礼

4/9[火] 中ホール 往復

### パルコ・プロデュース「世界は一人」

19:00開演(18:30開場)  
〒三重県文化会館チケットカウンター 059-233-1122  
松尾スズキ、松たか子、瑛太ほか豪華俳優陣でお届けする音楽劇。「ハイバイ」主宰の岩井秀人氏が作・演出をつとめ、シンガーソングライター・前野健太がオリジナル楽曲を提供。



4/28[日] 中ホール 復

### 三重のまなび2019 桑田真澄講演会「野球がくれた夢とまなび」

14:00開演(13:15開場) 入場無料 講師:桑田真澄(野球解説者)  
〒三重県生涯学習センター 059-233-1151

今年のまなび講演会は野球解説者、桑田真澄さんが登場! 憧れのプロ野球選手としての貴重なエピソードから、引退後に進んだ大学院で取り組んだ「まなび直し」についてまでたっぷりお話しさせていただきます。



7/7[日] 中ホール 復

4月上旬より受付開始(予定)

## みえアカデミックセミナー2019 石黒浩講演会 「ロボットによる生活・学習支援」

15:00開演(14:15開場)  
受講料 500円(学生無料) 定員:960名  
講師:石黒浩  
(大阪大学基礎工学部教授(特別教授)、ATR石黒浩特別研究所客員所長(ATRフェロー))  
申込方法:電話・FAX・ホームページ・Eメール・窓口・郵送  
〒三重県生涯学習センター 059-233-1151

県内全ての高等教育機関と連携して開催するみえアカデミックセミナー2019。オープニングにはアンドロイド研究で活躍されている石黒浩さんの講演会を開催します。



7/14[日] 大ホール 往復

## 三重県出身演奏家シリーズスペシャル 長崎貴洋指揮 三重県文化会館 管弦楽団

14:30開演(14:00開場)  
全席指定 2,000円  
〒三重県文化会館  
チケットカウンター  
059-233-1122

アルテンブルク・ゲラ歌劇場(ドイツ)の専属指揮者をつとめるいなべ市出身の長崎貴洋を指揮に迎え、選りすぐりのメンバーを集めた三重県文化会館オリジナル管弦楽団が結成!



## 開館25周年記念事業 後半にもご期待ください

11/10[日] 大ホール

### トリエステ・ヴェルディ歌劇場 オペラ「椿姫」

11月中旬~12月上旬 日本庭園ほか  
そうぶんの竹あかり

2020年  
1/10[金] 中ホール

### 二兎社公演43「私たちは何も知らない」

作・演出:永井愛 出演:朝倉あき ほか

2/9[日] 中ホール

### 三重県文化会館produceソリストシリーズ vol.3 三浦一馬&ドグマ室内オーケストラ

2/23[日] 中ホール

### 三重県文化会館produceソリストシリーズ vol.4 上妻宏光・藤原道山

3/14[土]~29[日] ギャラリー  
とびだせ! みえの絵本作家たち展2020

3/28[土] 大ホール

### 久石讓指揮 新日本フィルハーモニー交響楽団

3月上旬 多目的ホールほか

### 男女共同参画フォーラム みえの男女(ひと)2020

25周年記念事業  
パンフレット後半は  
2019年9月  
発行予定

学生向けサービス 25歳未満の学生に限り。 託児サービス このマークのある公演に適用されます。託児の申込は全て予約制(生後3ヶ月から就学前まで)公演2週間前までにお申し込み下さい。

クラシック後半割 休憩後からのご入場で定額の半額。当日、開演後に発売いたします。(事前のお申し込みはできません。完売の場合は販売いたしません。)

開演35分前に津駅西口発の臨時バス運行 終演後に津駅西口行きの臨時バス運行 問い合わせ先

【ご注意ください】 ※掲載している催し物は3月時点の内容です。日時・内容が変更される場合があります。また、本紙発行時点でチケットが完売の場合もございます。ご了承ください。



# あしたも そうぶん

あなたは今日、何をしていましたか？

音楽を聴きましたか

映画を観ましたか

本を読みましたか

演劇はどうですか

おなかはいっぱいになりましたか

適度に体を動かしましたか

宿題は終わりましたか

驚きやひらめきと出会いましたか

お目当てのモンスターはゲットできましたか

一度くらい空を見上げましたか

問題は解決しそうですか？

そうぶんの願いは、あなたのそばに居つづけること

せつかならあなたの役に立ち

あなたの、かけがえのない一日に関わりたい

あなたの命が始まってから終わるまでの

素敵な物語に少しでも多く登場したいと思うのです

だからそうぶんは

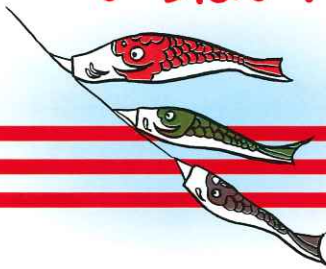
これからも、そうぶんであることを大切にします

今日も明日もそうぶんです



4月12日(金)~5月6日(月・振休)

春のそうぶんに行こうよ!  
こいのぼりが  
いっぱい!



6月19日(水)~7月7日(日)

そうぶんの七夕



8月4日(日)

M祭! 2019

キッズ・アート・フェスティバル



25TH MIE CENTER FOR THE ARTS 三重県総合文化センター開館25周年記念

## ことばプロジェクト

期間: 2019年4月~2020年3月末

探してみてくださいね

そうぶんでのクストと笑える言葉や、じーん…と胸が温くなる言葉などを展示します。

そうぶんでの「思い出のカケラ」を twitter で投稿しよう! (50字以内)

あなたの「ことば」が館内やホームページ等で紹介されるかも!

#そうぶん25周年 #思い出のカケラ

中ホールを見ると  
いつもケーキを  
思い出すのは私だけ?



- 交通のご案内 近鉄・JR線、伊勢鉄道「津駅」より徒歩約25分
  - 鉄道 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅」下車
  - バス 三重交通路線バス「津駅西口」から約5分
  - タクシー 近鉄名古屋線・JR紀勢本線・伊勢鉄道「津駅西口」から約5分
  - 自家用車 伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
- 開館時間のご案内 9:00~19:00(貸館等で使用する場合を除く)
  - ※チケットカウンター、アートショップMikke(みつけ)、レストランRIZ CAFEは10:00~19:00、カフェコーナーは8:50~18:30、カフェレストランCotti菜(こっちな)は9:00~17:00
- 休館日のご案内 毎週月曜日(祝日の場合は、翌平日)、12月29日~1月3日
  - 県立図書館のみ月末日及び特別整理期間も休館
  - 県立図書館 TEL059-233-1180 <http://www.library.pref.mie.lg.jp/>

MIE CENTER FOR THE ARTS  
**三重県総合文化センター**

〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234  
TEL059-233-1105 FAX059-233-1106

三重県総合文化センターは、文化会館・生涯学習センター・男女共同参画センター「フレんてみえ」・県立図書館・放送大学三重学習センターから構成される複合文化施設です。